

AutoForm からのご挨拶

この度、住商情報システム株式会社の協力のもと、皆様方に定期的にニュースレターを発行することとなりました。このニュースレターにより AutoForm の重要な製品開発情報や世界各地で行っている活動、ならびにプレス成形業界のトレンドおよびニュースを皆様にお伝えしていきたいと考えております。今回は、間近に迫った AutoForm^{plus} R2 リリースの情報をお知らせするとともに、定型的な業務においてスプリングバック補正を適用した事例についてご紹介いたします。また、プロダクト・デザインの 4 要素をツールでリンクさせる「統合アプローチ」についてもご案内いたします。

News

AutoForm^{plus} R2 - 優れた計算性能

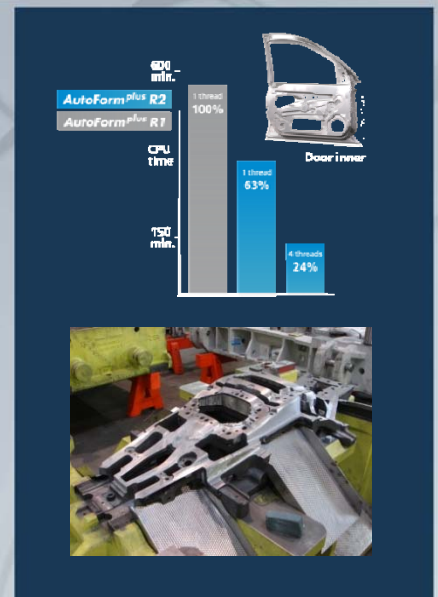
この度、AutoForm は最新バージョンの AutoForm^{plus} R2 を発表いたしました。このバージョンでは、ソフトウェア・アーキテクチャの変更を行った結果、驚異的な速度性能が実現されました。この処理速度の向上による精度の低下はまったくありません。最新機能のメモリー共有型並列コンピューティング (SMP) 機能の改良とソルバーの処理速度の向上とが組み合わせることにより、AutoForm^{plus} R2 は 4 スレッドを使用した場合に、従来品に比べ処理速度が 3 倍アップされるという素晴らしい結果を実現しています。(右図参照)

[詳しくはこちらをご覧ください。](#)

AutoForm のプレス成形シミュレーションにおける修正数が半減

Schuler Cartec GmbH & Co. は、AutoForm ドイツ・オフィスのサポートのもと、AutoForm ソリューションを活用した、スプリングバック補正を行う定型業務を確立しました。同社は、ダイムラー社 E クラス・モデルのサイド・メンバーの解析を行い、精度内の製品にするために、通常加工現場で 3~4 回ほど必要になる補正作業を、わずか 2 回で完了することに成功しました。

[詳しくはこちらをご覧ください。](#)



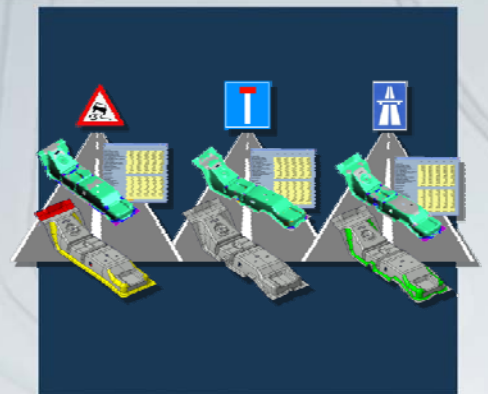
Technics

統合的デジタル工程設計・検証ソリューション

現在の多様化された購買嗜好や更なる技術革新競争、コスト低減要求の中では、製品の設計および製造手法の検討を統合的に行っていくことが必要とされています。限られた領域や限られた側面から、選択すべき設計や製造手法を検討したのでは、本質的な最適化を確立することはできません。つまり、製品設計、製造のあらゆる局面において、コスト、品質等のさまざまな視点から全体最適を検討していくことが求められています。

すべてのパラメータ及び目標(「品質」、「コスト」、「納期」、「機能」—これらを「4 要素」と呼んでいます)と、それらが相互に与える影響を考慮した、より統合されたアプローチと、更に製品の耐用年数を通してこれらを考慮する必要があります。すなわち、長期的な設計理念が求められています。

[詳しくは、こちらをご覧ください。](#)



Local

過去3年間、オートフォームジャパンは住商情報システムをサポートするため、また皆様のご要望にお応えできるよう、高い技術力を有し、また適切な訓練を受けた経験豊富なスタッフによる技術サポートチームを作り上げてきました。当チームは、プロジェクト作業やコンサルティング業務を通じ、複雑なプレス成形工程における様々な技術的課題に対するソリューションをご提供していきます。

オートフォームジャパンのエンジニアについて

お客様に AutoForm ソリューションを有効かつ効率的にお使いいただくため、住商情報システムと協力して、年間を通じたトレーニングのご提供を開始しました。

[トレーニングコースおよびそのスケジュールの詳細について](#)